

[dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0803

三重県津市柳山津興600-5 滝澤方
600-5, Yanagiyama-tsuoki Tsu-shi

TEL 090-4867-1476

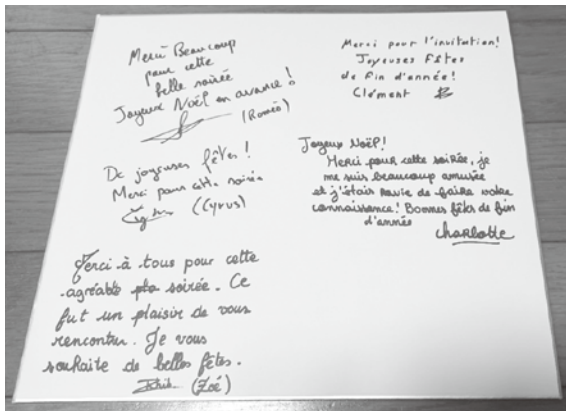
FAX 059-227-8010

№126 mars 2023 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

三重大学留学生歓迎ノエル会

三重大学に留学などしているフランス人学生を迎えるのノエル会が12月17日にスパゲッティカフェ サンマルコにて開催されました。

久しぶりの開催となった今回は三重大学の留学生が5人参加していただき賑やかな会となりました。会からは9人が参加しました。留学生の皆さんの日本語はどなたも達者で、意思の疎通にはほとんど問題はありませんでした。会員の浅野さんのフランスにちなんだクイズなどで大いに盛り上がりました。留学生の皆さんには折角三重県に来られたのですから、三重県や日本のことをたくさん経験して頂きたいです。



三重日仏協会会員が多数参加しているワイン会を、当会会員の山本昌弘がご紹介いたします。
ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。

TWA ワイン会

TWA(Tsu Wine Association)は、1982年3月に発足したワイン愛好会で、ベテラン会員のほとんどが日本ソムリエ協会認定のソムリエの呼称資格を持つ、実力と歴史のある会です。発足当時の例会は日本ソムリエ協会が行うソムリエ呼称資格認定試験に的を置いた本格的な勉強の場となっていました。近年は、勉強会の要素を残しつつ、ワインを楽しむことを第一に考えた、ワイン好きであれば、誰でも参加できるようなワイン会に形を変えています。

2015年2月にワイン会を主宰していた長田康二氏(第1回全国ワインアドヴァイザー選手権優勝者)が天に召され、長田氏の薫陶を受けたTWAメンバーが、彼の「ワイン文化を普及させたい」との思いを受け継ぎ、ワイン会を継続しています。

現在、毎月第3土曜日20時開始(12月は第2土曜日19時開始)、定員(16名)で入栄軒にてワイン会を開催していますが、私(現TWA会長)がワインセレクトを担当するようになってからは、ワインを純粹に味わっていただくため、すべてのワインをブラインドで(ボトルのラベルを隠して)提供しています。入栄軒の趣向を凝らした料理とワインのマリアージュは大好評で、毎回、参加者の感動を呼んでいます。



12月TWAワイン会風景

サンマルコワイン会

1990年に発足したウチヤマワイン会(ワインショップウチヤマ、店主:長田康二氏主宰)が発展的に、2002年にサンマルコワイン会になりました。

スパゲッティ&カフェ サンマルコ(オーナーシェフ:黒田晴樹氏、当会会員)にて定期的開催され、ワインセレクトは長田氏が担当していました。

現在、ワイン会を構成するメンバーは25名程で、例会は定員制(16名)となっており、参加者にとっては参加できることがまず大きな楽しみとなっています。

毎月第1月曜日20時開始で、黒田氏セレクトのワイン(泡・白・赤)・食後酒計5種類が提供されます。お店のメニューにないスペシャル料理が参加者を驚かせ、ワイン談議に花を咲かせ楽しい時を過ごしています。



11月サンマルコワイン会風景

フランス企業と県内企業における「産業連携」のご紹介

津市がフランスの行政体との間で、企業間交流促進事業を行っていることはご存じでしょうか？今回は、この事業の紹介と、参加企業である中川製作所社長とのインタビューをお届けします。

三重県・津市と海外連携事業の歴史

平成 21 年	三重県と津市・四日市市、県内中小企業の経済ミッション団が欧州を訪問。フランス・アヌシー市において、産業協力協定を締結
平成 22 年 11 月	テザム社 津市内企業を訪問
平成 23 年 1 月	メカトロ産業交流ミッション団来県
平成 24 年 11 月	津市単独で欧州ミッション団を派遣し津市とパリ地域経済開発局との間で産業協力協定の調印を行う
平成 25 年 11 月	津市欧州ミッション団の派遣（2 度目）
平成 27 年 10 月	フランス・オヨナ地域経済ミッション団が津市に来訪
平成 28 年 10 月	3 度目の津市単独欧州ミッション団派遣。オヨナ市を含むオーブジェ広域行政体と経済・産業協力の促進に関する合意書を締結
平成 30 年 4 月	フランス・オヨナ地域経済ミッション団が津市に来訪
令和元年 11 月	津市欧州ミッション団のオヨナ市への派遣

こうして、平成21年に県内で始まったフランスとの産業連携事業は、現在はフランスのプラスチックバレーと呼ばれるオヨナ市と津市との間の交流が中心となっています。

津市内にある(株)中川製作所は、この経済交流に参加している企業の一つです。三重日仏協会の浅野がインタビューをしてきました。

(株)中川製作所 代表取締役中川雅弘氏 インタビュー

株式会社中川製作所

所在地

三重県津市安濃町荒木 580-1 TEL:059-268-2325

事業内容

ステンレス、アルミニウム等への精密部品加工
石英ガラス、セラミックス、樹脂に対する高精度小径微細加工
紡績針をはじめとする繊維機械部品

中川雅弘氏について

慶応大学環境情報学部卒業、商社勤務ののち、ボストン大学大学院に留学し MSc (Master of Science) 取得。2007 年、(株)中川製作所社長就任。現在に至る。

浅野 津市とオヨナ市との企業間交流に参加した経緯を教えてください。

中川 弊社がスイスに輸出していることから、ジェットロ(日本貿易振興機構)を通して打診がありました。

浅野 御社とフランスとの歴史は？

中川 もともと日本には、渋沢栄一氏などの尽力のおかげでフランスの紡績機械がたくさん輸入され使用されてきました。その機械に使用する紡績針をフランスから輸入するのはコスト高ということで、より安価で質の良いものを製造する会社を始めたのが弊社創業者で私の曾祖父にあたる中川慶次郎です。

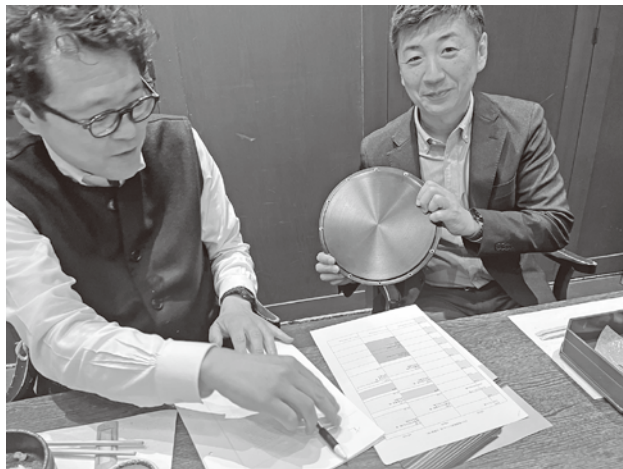
浅野 では、創業からフランスとの関係があったのですね。

中川 そうですね。そののち、逆に弊社の針が本国よりも高品質ということでフランスへ輸出されるように

なりましたので、創業以来フランスと深い関りがあると言ってよいかもしれません。ただ15年ほど前より、針の製造で培った技術を生かして微細加工製品の製造に取り組んでおり、現在ではそちらが弊社の主力となっています。今日持参した製品は、半導体のウエハーの上に膜を作るための部品なのですが、この円盤状に、実は0.4ミリの穴を1000個ほど空けてあります。これはイギリス・ウェールズの会社からの依頼で製作しているものですが、こうした微細加工製品の注文は、ヨーロッパはじめ世界中からあります。フランスには国際見本市で訪れることも定期的であり、これからもヨーロッパ市場は弊社の主力の一つです。

浅野 この津市から、グローバル市場で活躍している会社があることに驚き、大変勉強になりました。今後のさらなる発展を心より祈念いたします。最後に、中川社長個人とフランスとの思いについてなにか一言お願いします。

中川 渡欧することも多くフランスについてはたくさんありますが、あえて一つといえますとやはりワインでしょうか。特にボルドーのメドックワインが大好きです。毎年9月にボルドーで開催される、ワインを飲みながらのフルマラソンの「メドックマラソン」に参加するのを目標として普段からトレーニングしています。実は昨日も東京マラソンに参加してきたところです(笑)



浅野 三重日仏協会にはメドックマラソンに参加経験のある会員もおります。今度ぜひ一緒にワインを飲みながら、そのあたりの話をいたしましょう。本日はどうもありがとうございました。

中川社長(向かって右)が手に持っているのは、英国企業の依頼で製造した、0.4ミリの穴が1,000個ほど開けられた特殊な盤

4/9(日) 柏木隆雄氏 「第22回文芸講演会」

毎回好評を博しております文芸講演会も第22回を迎え、今回も放送大学三重学習センターとの共演で、下記のように開催いたします。

一般公開、入場無料です。多数のご来聴をお待ちしております。

会場：三重県総合文化センター内 生涯学習センター4階 中研修室

時間：午後2時～4時

演題：「会津八一と吉野秀雄 ―奈良の古寺・古佛をどう詠んだか」

講師：柏木隆雄 先生

(大阪大学、大手前大学名誉教授)



<講師のひとこと>

例年、フランス文学と日本の文化とのかかわりを中心にしてきましたが、今年は春たけなわの古都の賑わいを思いながら、二人の歌人の作品を考えてみたいと思います。明治初年の廃仏毀釈運動により、多くの寺が荒廃、とりわけ奈良の古刹は甚大な影響を蒙りました。折しも早稲田中学の英語教師であった会津八一は遠く奈良を訪れ、彼の愛誦する『万葉集』の世界が眼前にあり、しかも時には由緒ある古仏を僧自ら焚き物にする姿に暗涙を催します。大正13年の『南京新唱』は当初ほとんど顧みられない歌集でしたが、今や古都奈良を巡る人たちの必携の書となっています。八一に私淑、親炙した吉野秀雄はまた新しい感性で奈良を歌いました。二人の師弟の仕事を振り返って、それぞれの人としてのありようを考えてみたいと思っています。